

【特別講演 I】

「大腸腫瘍における内視鏡診断と治療」

講師 熊本大学病院 消化器内科

特任助教 具嶋 亮介

座長 熊本大学病院

川西 幸洋

本邦において大腸癌は罹患数では全体で1位、死亡数も2位と最も多い癌となっている。大腸癌の死亡を減らすには大腸内視鏡検査をおこない、早期発見する必要がある。しかし、大腸癌を減らすには内視鏡検査を行う前の前処置・内視鏡診断・内視鏡治療を適切に行わないといけない。内視鏡診断においては検出や鑑別診断可能なAIが薬事承認された。また内視鏡治療ではpolypectomy・EMR・ESDに加えてcold snare polypectomyやunderwater EMRなど新たな治療法が増え、内視鏡技師や看護師には求められる知識や技術が増えてきている。

そこで今回、大腸腫瘍における最新の内視鏡診断と治療について概説する。